

R

RIVIERA

リビエラライフのためのマガジン



25

NO.

2024

アジアでたった2つのサステナブルマリーナ



リビエラシーボニアマリーナ
国際環境認証「ブルーフラッグ」を本年初取得
アジアで2番目のマリーナ認証



ブルーフラッグとは、デンマークに本部がある「国際NGO FEE (国際環境教育基金)」による世界で最も歴史のあるサステナブルな海辺を評価する国際環境認証制度で、SDGsの17ゴールすべてに関わるプログラム。世界では5,121か所取得(そのうちマリーナはわずか約14%の狭き門)。日本では14か所取得(マリーナはアジアで2か所のみ)。

リビエラ逗子マリーナ、リビエラシーボニアマリーナの
艇オーナーの皆さま

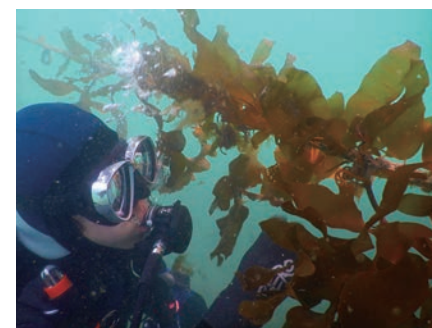
ブルーフラッグマリーナのリビエラでは、海洋環境の保護に積極的な役割を担っている所属船舶を認証することができます。ブルーフラッグ認証旗を所有艇に掲げて、美しい海と未来のためにリビエラと共に取り組んでまいりましょう。詳しくはホームページまでお問い合わせください。

リビエラ逗子マリーナ
2022年にアジアで初取得して以来
3年連続で「ブルーフラッグ」を継続



リビエラは真に豊かな海を次世代に引き継ぐために
海の脱炭素に貢献する藻場再生に取り組んでいます

ブルーフラッグを取得したアジアでたった2つのサステナブルマリーナ「リビエラ逗子マリーナ」と「リビエラシーボニアマリーナ」では、2022年から藻場再生に挑戦しています。これはマリーナ内での日本初の取り組みで、藻場をベルト状に広げていこうとリビエラが提唱する「ブルーカーボンベルト®」プロジェクトの一環です。



主催するLOVE OCEANの「海のシンポジウム」で毎回話題に上がるとおり、日本の海を取り巻く環境問題は海ゴミだけではなく、魚が卵を産み育て、棲み処となる海の森「藻場」は、地球温暖化などを原因として減少し、いわゆる海の砂漠化「磯焼け」が急速に進んでいます。海洋生態系に深刻な影響を与え、食卓に魚が上らなくなる未来も危惧されるほど、世界的に警鐘が鳴らされています。そして、私たちの目の前の相模湾も例外ではありません。海中でCO₂を吸収するブルーカーボン生態系は、陸上の生態系よりも長期間にわたり、約10倍多く炭素を固定化するため、藻場の再生は脱炭素に大きく貢献することができます。リビエラでは、地球の源である豊かな海を守り、未来の子どもたちに引き継ぐため藻場再生に取り組んでいます。藻場再生は困難の連続ではありますが、「ブルーカーボンベルト®」をまずは相模湾に広げ、将来的には日本列島全体がブルーカーボンベルト®に包まれ、真に豊かな海を有する国になることを願っています。そして、海を愛する皆さまと手を携えて進めてまいります。

一般社団法人ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所
特定非営利活動法人リビエラ未来創りプロジェクト
株式会社リビエラリゾート





東京大学教授・慶應義塾大学特任教授
元参議院議員
鈴木 寛さん
Kan Suzuki

美しい海とおいしい魚が原風景
海好きは生まれた時から

——風光明媚な須磨海岸あたりのご出身。海好きの原点はご幼少のころから？

鈴木 生まれは明石。育ちは神戸。瀬戸内海と淡路島を見ながら学校に通うという少年時代を過ごしました。明石には「魚の棚」という商店街がありますし、須磨や垂水のお寿司は絶品。美しい海とおいしい魚は、私の原風景です。

**弱小サッカー部を
勝利に導いた自主運営**

鈴木 灘中学・高校の6年間はサッカーに打ち込みました。灘サッカー部は当時弱小で、私自身もプレイヤーとしては下手でした。それでも私が責任学年のときに、後のJリーガーや日本代表を輩出して



幼少期にご兄弟で



灘高サッカー部時代

いる御影工業高校、御影高校という近隣の強豪2校を抑えて、神戸市一部リーグで優勝したんです。私はチームフロントを兼ねていて、選手としてはそこまで貢献できなかったがチーム運営で本領発揮しました。「弱小チームが勝つために何をすべきか」「うちの強みは何か」を徹底的に考えました。高校生ながらSWOT分析したりして。

強みは「便利な場所、そしてグラウンドを自由に使えること」。当時の灘サッカー部はラグビー部とグラウンドを共用していましたが、ラグビー部は使わない日も多かったので、サッカー部がほぼ独占。一方、御影工業や御影高は、他のスポーツも盛んで練習場確保に苦労していた。そこで、私はあちらの顧問の先生に「灘と練習試合をしませんか?」と持ちかけた。つまり、テレアポ営業したわけですね。こう

して強豪2校との交流が始まりました。練習試合を繰り返してやるうちにうちのレベルも上がっていった。相手方は国体に選手を何人も送り込んでいます。でも、こちらは市大会で勝つのが目標だから、国体が終わってライバル校の選手のピークが下がっている時期に、こちらのチーム力のピークを持っていくといった戦略的なスケジューリングも実行したり。その成果が、神戸市一部リーグ優勝でした。エポックメイキングした瞬間です。

——このエピソードの大事なところは、高校生が顧問や監督に押し付けられたのではなく、自分たちで目標を定め、戦略を立て実践し、成果を勝ち取ったということですね。

鈴木 当時のサッカー部顧問の村上先生は、わが生涯の恩師です。灘の自由な校風もあり、自らは監督を務めず、私たちの自主運営を温かくバックアップしてくださった。

今日の教育では、「子どもたちの自主性をいかに引き出すか」が大きな課題です。セルフプロデュースとセルフマネジメントによる成功体験。これを高校時代に得るこ

とができたのは、私にとって非常に大きいと思っています。

**年間観客動員数2万の
学生公演プロデューサー**

鈴木 父と祖父はかなり本格的に音楽をやった人で、家庭の中に常に音楽がありました。私も歌が好きでフォークバンドを組み、声楽も習った。中1からオペラにも親しみました。

藝大の音楽科に憧れたものの、歌もそこまでのレベルにはいかず諦めて、進学した東京大学で音楽部コールアカデミーという男声合唱団に入りました。ここでも運営業務が得意だったから東京六大学合唱連盟の理事まで務めることになりました。また、ミュージカル劇団「駒場小劇場ネヴァーランド・ミュージカル・コミュニティ」の音楽監督もやりました。



2歳のとき自宅にて

裏に回って才能ある人を応援したい
だから“仕掛け人”になった

インタビュー：渡邊華子(2024.1.19)

歌が好き、サッカーが好き、そして海が大好きな自称「ラテン系」。元通産官僚、元参院議員、元文科副大臣にして、私学・国立の大学正教授を兼職するクロスアポイントメントの国内第1号。そして「現代の松下村塾」とも称される人材育成私塾「すずかんゼミ」の主宰者、時代のキーワード「ウェルビーイング」の伝導者……華麗で多彩な経歴と、お祭り好きで同志の輪がどんどん広がる、社会学者・鈴木寛さんのエンジョイライフに刮目してください。

Profile
鈴木 寛
Kan Suzuki

すずきかん(本名ひろし):1964年兵庫県生まれ。灘中学・高校を経て東京大学法学部を卒業。1986年、通商産業省に入省。資源エネルギー庁、国土庁、産業政策局、生活産業局、シドニー大学、山口県庁などで勤務。95年、本省に戻り機械情報産業局でインターネットや電子商取引の普及に尽力。人材育成の私塾「すずかんゼミ」を立ち上げる。99年に退官して大学教員に転身。2001年、参議院議員に初当選。文部科学副大臣、文部科学大臣補佐官などを歴任。議員を退いた14年2月、慶應義塾大・東京大の教授に同時就任。並行して客員教授・招聘教授も多く務め、日本サッカー協会理事なども務める。OECD教育スキル局など海外機関でも活動。



東京大学時代 グリーンテニスクラブの同期と

テニスやスキーもやりましたけど、学生生活のメインは公演活動。合唱団も劇団もそれぞれ年3〜4回ずつ。東京六大学合唱連盟は2日間の公演で5000人を動員し、劇団は350人キャパの劇場を14日連続で満席にした。1公演あたりの経費が何百万もかかるから、いかにチケットを売るか腐心したりもして……学業そっちのけで大忙し。年間観客動員数2万、入場料総売上数千万円のいっぱしのプロデューサーだったわけです。

新聞ネタにもなった 官界への就職

——学生時代からスポーツ、芸能分野でプロデューサーとして活躍されてきた先生は、興行界で

ます。皆、「海を愛し守りたい」という思いを持つ同志です。

LOVE OCEAN オーシャンラバーで意気投合

鈴木 宿命でオーストラリアのシドニー大学に赴き、1年間、客員研究員を務めました。オーストラリアは入り江ごとにヨットハーバーがあり、土日ばかりか、木曜の午後・夕方、数千艇のヨットが海を埋め尽くすんです。あちらでは、老いも若きも男女問わず家族総出でセーリングを楽しむ文化が根づいていて、日中は船を走らせ、帰港すれば夕陽を眺めながら他の船の家族も交えて過ごす。富裕層だけでなく、一般家庭でも大型艇でセーリングの醍醐味を楽しんでいました。



山口県庁出向時代 ご友人やご家族と萩マリーナにて

はなく、通商産業省(現・経済産業省)に進まりました。

鈴木 歌もサッカーも好きだけど、やるのは下手だったからかな？ 下手な分、上手い連中を応援したい。裏に回って才能を花開かせてやりたい。そう思ったんです。

大学からの友人は「公演ばかりやっていて勉強はしなかったお前がなんで官僚？」と首を傾げましたが、高校の仲間は「向いていると思った」と言います。マネジメントやフロントワークが得意で、予算を取ってきたり、交渉事をまとめたりするのが上手なことを知っていたからです。

通産省は「プロデューサー集団」といった性質の役所です。化学メーカーの研究開発者だった父が通産省主導のプロジェクトに関わったことがあって、小学生のころからそんな話を聞いていました。就活で集めた資料の中に「東京映画祭をプロデュースしているのは通産省」と記載されてあって、これはイイゾ……と。公演ばかりしていたので、一年目は練習のつもりで公務員試験を受験したらぎ

ウェルビーイングとはまさにこれだと思いつながら、私も豪州ではひたすらヨットを楽しみました。

——日本は海に囲まれた国なのに、学校教育から海は取り残されています。湘南界隈でさえ「泳ぐのはブル」[海へ行っても波打ち際まで]という子がほとんど。「海から陸を見る」という体験は、日常生活とは180度異なる視点を与えてくれるはずなのに、残念でなりません。

そこでリビエラは、子どもたちにヨットを通じた体験から学ぶ海洋教育として日本海洋アカデミーを運営し、すでに8300人に海洋プログラムを提供。これは環境・教育・健康医療(ウェルビーイング)を3本柱とする「リビエラ未来づくりプロジェクト」の一環です。

日本では、せっかく大学ヨット部などで打ち込んだ経験があっても、社会に出るとやめてしまう人が多いのも現実。ヨットが生涯スポーツになり得ていません。

先生ご自身のヨット事始めはオーストラリアですか？

鈴木 ヨットを始めたのは大学四年。

りぎり受かった。変わり種が採用されたというので、新聞が「学生劇団から通産官僚へ」と取り上げてくれて、「これからは国会劇場で頑張ります」なんて生意気を言ったりもして……。

全国行脚で痛感した 日本の海岸利用の偏り

鈴木 20代は地道な役人修業の間でしたが、渡り歩く部署すべてが面白く、勉強にもなった。24歳のとき国土庁(現・国土交通省)に出向となり、「ふるさと創生事業」と「リゾート法」を担当した折に全都道府県を回り、子どものころから大好きだった海と仕事上の関わりができた。そのときに、



通産省時代 静岡にて

通産省の同期に熱心なヨット乗りがいて、彼に誘われてリビエラシーボニアマリーナでディンギーの手ほどきを受けました。

でも、海の原体験は小学5・6年生で受けたカッターボートの合宿訓練。神戸の公立小では、当時の神戸商船大学との提携で、このカリキュラムを設けていました。

小学生にとってカッターを漕ぐのは強烈な体験です。一致団結して一人ひとりが役割を果たさないと、ボートは動かない。海は学べることがたくさんあった。

シドニーの子どもたちにとって、海は日常。オーシャンラバーの裾野を広げるには、小中学生のころから海に馴染ませることが大事。その意味でも、リビエラの海洋プログラムやビーチクリーンなど、



愛艇SUZUKAN号 長男と三豊市の仁尾マリーナにて

四季折々ところどころで異なる美しさを持つ自国の海岸線があるにもかかわらず、大多数の国民が海を楽しみづらい。正直それはもつたないことだと思えました。リゾート担当係長としてマリリーナづくりに携わった私としては、開発コスト・メリットと地域おこしを両立できる既存漁港の一部マリリーナ化は、漁港とリゾート事業者の両方にとってwin-winだろうと思ったのですが、なかなか調整が前に進みません。ひとつには、漁業は農林水産省、マリレジャーは国土交通省という縦割り行政の弊害もあります。地方行政が横串を刺して、民間も巻き込んで調整していかなければ。

——先生が指摘されたとおり、漁業者とマリレジャーは立場の違いから、たしかに意識に隔たりがありますね。しかし、近年ブルーカーボンベルト®️を目指した日本初マリリーナ内の藻場再生や、LOVE OCEANプロジェクトのビーチクリーンを通じて、リビエラでは漁業者の方々との距離がぐっと縮まってきている気がし

海洋環境再生をベースにした広域な地方創生プロジェクト「LOVE OCEAN」が広まることに期待しています。リビエラとのご縁は、オーシャンラバーを広げたい僕と、このプロジェクトで意気投合したのが始まりでしたね。

海への関心をつなぐ シェアリングという発想

鈴木 シドニーでは、クルージングヨットクラブ オーストラリアに所属し、クラブ所有の大型ヨットをレンタルして、ヨットライフを楽しんでいました。その後、山口県庁への出向時代は、萩のマリーナで35フィート艇を友人たちとシェアしていました。今は、香川県三豊市に30フィートのヨットを所有し、また、米国サンディエゴで、時々大型ヨットを操船しています。

——プレステージ会員制クラブ「リビエラリゾートクラブ」と方向性を同じくする発想ですね。

鈴木 小さなボートからゴージャスな大型クルーザー、本格レースヨット、豪華なカタマランヨット

海を愛する仲間と、相模湾全域13市町で

SHONAN COAST

第5回

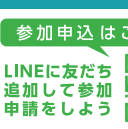
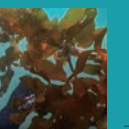
Love Ocean

NO OCEAN, NO LIFE! 湘南の海がもっと好きになる!

学生・社会人
必見!
ボランティア
証明書
発行可能

海を愛する

仲間たち 集まれ!



参加申込はこちら
LINEに友だち追加して参加申請をしよう

地球の源「海」を守る最後の砦!

漂着ゴミも流出ゴミも、私たちがストッパーになろう!

リビエラ湘南ビーチクリーン

※今年も漁港でも開催!

自分の予定に合わせて参加しやすい場所だけでOK!

10/19 (土)	9:00~	湯河原町	吉浜海岸
	10:30~	真鶴町	岩海水浴場
11/9 (土)	12:30~	小田原市	御幸の浜
	15:30~	二宮町	梅沢海岸
11/16 (土)	9:00~	鎌倉市	由比ヶ浜海岸
	11:30~	逗子市	小坪漁港
12/14 (土)	9:00~	三浦市	小網代漁港
	11:30~	横須賀市	和田長浜
	15:00~	葉山町	森戸海岸
	10:00~	藤沢市	江の島

海に想いを馳せ肩ひり張りずに語り合う

海のシンポジウム

2025.1/19(日) | リビエラ逗子マリーナ

ヨットレースをしながら
海洋自然環境のためのアクションを実践!

クリーンセーリング レガッタ2024

11/10(日) | 秋谷沖スタート
⇒ 南西沖ブイ往復

釣果を競いながら海洋ゴミも集めて
洋上をきれいに!

リビエラフィッシング マスター2024

11/17(日) | リビエラシーボニアマリーナ

リビエラ未来づくりプロジェクト
RIVIERA MIRAI PROJECTS



主催: 特定非営利活動法人リビエラ未来創りプロジェクト
共催: 株式会社リビエラリゾート/株式会社リビエラ東京/
一般社団法人ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所/
一般社団法人日本海洋アカデミー
事務局: リビエラSDGsアクション実行委員会

後援: 環境省/神奈川県/三浦市/横須賀市/葉山町/逗子市/鎌倉市/藤沢市/茅ヶ崎市/平塚市/大磯町/二宮町/小田原市/真鶴町/湯河原町/豊島区(6月8日のみ)/公益財団法人日本パレーポール協会/大磯町商工会/茅ヶ崎商工会議所/小田原箱根商工会議所(その他調整中)

公式HP/最新情報/アクセス

第5回 LOVE OCEAN

ラブオーシャン 検索

mail: info-sdgs@riviera.co.jp



文部科学大臣補佐官時代 G7教育大臣会合にて議長代行

など、グレードの高い多彩な船をその時々目的に合わせてシェアできる上、会員一人ひとりに合わせたコンシェルジュサービスまで充実している点もうれしい。私は「リビエラリゾートクラブ」で、ウェルビーイングな時間を過ごしています。

自分の人生を思うように生きるそれがウェルビーイング

鈴木 ここまでに述べた「ウェルビーイング」とは「肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態」ということ。山口県庁勤務のとき何度も通った松下村塾に触発されて始めた「すずかんゼミ」は、開講から29年、約1000人の教え子を輩出して

います。ゼミが掲げるテーマは「近代」。近代社会が一貫して追求してきた物質文明と経済発展を否定するものではありませんが、それを至上とするのはもう卒業しようと呼びかけています。

昨年は国連事務総長が「BEYOND GDP」と言い、そして、岸田文雄総理が「ウェルビーイング」と所信表明で使われました。湘南は、自然環境・文化芸術・産業・人のつながりなどが揃っていることから、日本の中ではウェルビーイングが高い地域。とは言え、日本は世界の中ではウェルビーイングの後進国です。ウェルビーイングの真の主眼は、実は健康でもなく経済力でもなく、「自分の人生を自分が生きたいように生きられていく」ということ。リビエラが提唱する「湘南コースト(三浦・湯河原)」に、ウェルビーイング観点からも大変期待しています。

——リビエラが企業理念に掲げる、「大自然と共に心豊かに生きる」「心の豊かさ」は、自分が生きたいように生きられてこそです。

鈴木 昨春秋、リビエラの呼びかけ

で旗揚げされた「湘南国際芸術祭」にもウェルビーイングを追求する上で大きな意義があります。

——海からの視点を大切に、アートを活用し広域な地方創生を目指す「湘南国際芸術祭」には、大変多くの日本芸術院会員の先生方にもご参加いただき、旗揚げできました。

鈴木 『湘南国際芸術祭』がトリガーとなって、文化芸術と海を通じたウェルビーイングなコミュニティづくりを共に発信していきたいですね。

リアルでつながり語り合う
共苦共楽体験で得られる同志

——何でも興味をもって、楽しめるところは、一貫されていますね。

鈴木 灘中時代についたあだ名は、「エンジョイ・スズキ」です。文化祭やら体育祭やらの実行委員には片っ端から手を上げるお祭り好きでしたが、それを止める大人がいなかったことも大きいですね。

でも、何よりのポイントは、打ち込めば打ち込むほど、同志がどんどんできていったから。同志とは、共に苦勞して共に喜び合った、



東京オリンピック・パラリンピック招致活動

「共苦共楽体験の持ち主のことで、知人はSNSでもつくれますが、友人は語り合えないとつくれない。同志はプロジェクトを成し遂げないといけない。」

選手としての実績に乏しい私が「リーグ創設に携わったり、サッカー協会理事に推されたり、オリンピック招致に携われたのも、かつての名選手たちと、同志として苦樂を共にした経験があるから。文化芸術振興議員連盟の幹事長を務めたり、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(劇場法)をつくれたのも、大学時代の活動と仲間抜きにはありえなかった。

リビエラも「仕掛け人」の同志。「エンジョイ」しながら、共にウェルビーイングを追求していきたいま

しょう!

ライター 丸山けんおう

The Genesis Invitational



2024年優勝・松山英樹選手



左: オーナー 渡邊昇、
右: 松山英樹選手



ホストを務めるタイガー・ウッズ選手の
プレーにギャラリーが沸く



February 15-18, 2024

© 宮本 卓

日本中が歓喜した 大逆転勝利

リビエラグループのフラッグシップ、米国のロスのリビエラカントリークラブ(以下RCC)で、今年もPGAツアー「ジェネシス・インビテーション」が開催されました。

今季から優勝賞金が破格の400万ドル(約6億円)に増額され、出場選手も通常大会の約半数の70名に限られるなど、出場資格を得ることすら難しく、以前にも増して特別な大会(招待試合)です。

今年は何んといっても松山英樹選手の大逆転優勝が日本中に感動をよびました。首位から6打差で迎えた最終日、3連続バーディー3回に加えノーボギーで、コースレコードの62をマークする快進撃に、ギャラリーはもとより解説員やメディアなど、現地の盛り上がりは言うまでもありません。

「親交ある日本人オーナーのRCCで、しかも憧れのタイガー・ウッズ選手がホストを務める本大会で優勝できたことは特別な喜び」と

松山選手。RCCでの日本人初優勝の快挙を果たすとともに、マスターズとジェネシス両大会の優勝メンバーに松山選手が加わったことは、私たち日本人にとって、この上なく嬉しい出来事でした。

100周年を迎える2026年に全米女子オープン、2028年にロス五輪、2031年には全米オープンを開催するRCC。より一層磨かれていくRCCにご期待ください。



夜明け前から芝を磨き上げるメンテナンススタッフたち

2024年11月に「森のジャズライブ」開催決定！

都会の喧騒を忘れるような趣のリビエラ東京。滝の水音や鳥のさえずり、木々の葉音までもがBGMになる緑豊かなガーデンで、ジャズの生演奏を聴きながら贅沢な時間を過ごしませんか。



【日程】11月1日(金)
【時間】18:30~20:30
【金額】7,700円~



詳細はこちら

音楽芸術も一緒に楽しむ
アートフェア期間中には、ジャズの生演奏と食事を堪能できる「森のジャズラウンジ」も同時開催。耳なじみのあるナンバーを満喫していただきました。



開催レポート

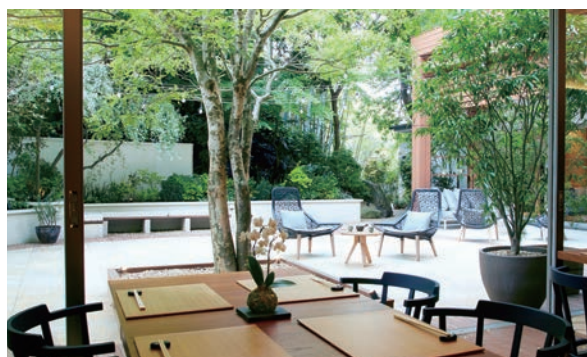
リビエラアートフェア 2023 @リビエラ東京

2023/11/1~11/3

アートのあるレストラン

「茶寮リビエラの庭(東京・池袋)」と「レストランテAO 逗子マリーナ(神奈川・逗子)」では、身近にアートに触れお買い求めいただける「アートギャラリーレストラン」を展開しています。季節の移り変わりとともに、2ヵ月ごとに替わるアートをお食事とともに楽しみください。

茶寮リビエラの庭



料亭「白雲閣」から開業75年目を迎え、「レトロモダンな和」をコンセプトに長年の伝統を受け継ぐ和食レストラン。大小さまざまな個室も人気です。



今後の展示アーティスト

9・10月 村上里沙
11・12月 TATANAHARU (久保京子×春陽)
過去の展示アーティスト(50音順)
安西大・太田慧香・金木正子・金丸悠児・繁田穂波・TATANAHARU (久保京子×春陽)・中島千波・村上里沙・山本博・渡邊智美

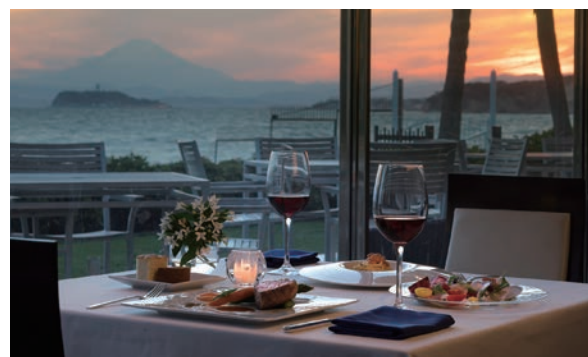


ご予約・お問合せ

【住 所】東京都豊島区西池袋5-9-5
リビエラ東京内(立教大学前)
【定休日】火曜・水曜
【電 話】03-3981-3264



レストランテAO 逗子マリーナ



月替わりのメニューと、富士山・江の島を望む全席オーシャンビューを求めて都内からの常連客もこぞって通う「旬を味わう」モダンイタリアンです。



今後の展示アーティスト

9・10月 堤岳彦
11・12月 Saya
過去の展示アーティスト(50音順)
緒方環・たかすぎるな・高橋祐次・轟友宏・平尾香・藤原悠里・ブルース オズボーン・山田勇魚・山田結美・U-SKE



ご予約・お問合せ

【住 所】神奈川県逗子市小坪5-23-16
リビエラ逗子マリーナ内
【定休日】火曜
【電 話】0467-25-0480



「アートと暮らす」をコンセプトに第2回となる「リビエラアートフェア2023」が、去る11月1日〜3日にリビエラ東京(池袋)で開催されました。これは、アートを身近に取り入れることで、日々の暮らしに彩りと安らぎをもたらし、心豊かに生きることが願ったイベントです。
絵画をはじめ、アート雑貨、ジュエリー、フラワーアートなど、国内外で活躍する総勢86名のアーティストが創り出す、多彩なエネルギーを放つ作品を展示・販売しました。また、環境・教育・健康医療(ウエルビーイング)の3本柱でサステナビリティに取り組み「リビエラ未来づくりプロジェクト」の一環で、地元池袋の美術学校にてプロを目指す学生や、アートを用いて子ども向け教育を行っている団体にも発表の場を提供。アーティストとお客様をつないだ本アートイベントを通じて、未来を担う芸術家の若手支援や地域貢献も行いました。

アートでまちづくりに貢献



開催レポート

海とアートで世界とつながる 湘南国際芸術祭 Art Shonan 2023/11/10～11/12



「海のある街」 アートで広域な地域活性化

相模湾越しに富士山を望む海のある街「湘南コースト(神奈川県三浦から湯河原まで)」は、世界から大注目されるポテンシャルに満ちている。20年以上前に湘南でマリナー事業を始めて以来、私たちは常々感じていました。

リビエラではこれまで「LOVE OCEAN プロジェクト」や「ブルーカーボンベルト®」、「リビエラSDGs作品マンガ大賞」などさまざまな取り組みを実施し、地域活性化を目指して、海でつながる「湘南コースト」全体のエリアブランディングに努めてきました。

そしてこの度、湘南から世界に向けたアートの発信を通じて、文化芸術の観点からも、魅力あふれる湘南の広域な地方創生に寄与したいというリビエラの思いに、芸術界の多くの巨匠やリーダーの方々が賛同くださり、去る11月10日～12日に「湘南国際芸術祭」を開催することができました。

「難しいことを易しく」 ユーモアたっぷりの基調講演

11月10日には、二部制のフォーラムを開催。一部では「芸術は身近なもの」をテーマに、日本芸術院会員で、現在日展理事長や東京藝術大学名誉教授を務め、第22代文化庁長官や第9代東京藝術大学学長も歴任してきた金工芸家の宮田亮平氏による基調講演を行いました。ドイツ駐在時や文化庁長官時代、東京藝大での学生とのエピソードを交えて、「難しいことを易しく」、「古いものから見る面白さ」、「新しいものからの発見」など、参加者を巻き込みながらウィットに富んだお話を聴かせていただきました。

さまざまな視点から語る トークセッション

二部では宮田氏のほか、日本芸術院会員で日展副理事長・事務局長を務められる彫刻家の神戸峰男氏や神奈川県知事の黒岩祐治氏、元文部科学副大臣で東京大学公共政策大学院教授の鈴



木寛氏によるトークセッションを開催。一般の方に加え、多くの日本芸術院会員をはじめとする芸術家の方々が全国からも駆けつけた本フォーラムは、芸術は難しいものだと思われる方も多いなか、楽しく分かりやすく語っていただきました。

海から見える富士山の魅力や作品創りの原点、芸術教育の重要性、「海からの視点」を大切に湘南国際芸術祭への期待など、それぞれの視点でトークが繰り広げられました。参加者からは、「あつという間に時間が過ぎた」「もつと話を聴いていた」と駆り立てられた「芸術の面白さ



徳川家康騎馬像・徳川四神・西の国からシリーズなど

語られ、アートの世界に引き込まれた「アートが加わった湘南はグレイドの高いリゾートになるだろうと思うとワクワクする」など、さまざまな感想をいただきました。

芸術が湘南に結集 海を基点に新たなツーリズム

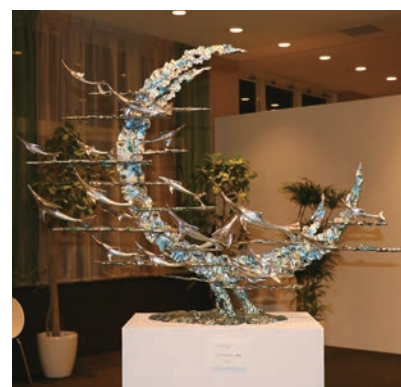
メイン会場のリビエラ逗子マリナーでは、神戸峰男氏による特別企画展示とギャラリートークを実施。「徳川家康騎馬像」をはじめ、「徳川四神」、「西の国から」シリーズ、「ターバン少女」などが一堂に飾られ、訪れた方々はその迫力に圧倒されていました。

また、宮田亮平氏の原点でもあるイルカを題材にした代表作「シュプリング」シリーズの新作展示に加え、湘南国際芸術祭が開催される富士山と相模湾からインスピレーションを受けた最新作もお披露目されました。今にも飛び跳ねそうなイルカと海の躍動感に、多くの方が魅せられました。

サテライト会場では、大型木造



シュプリング Fuji



シュプリング 月光

クラシックヨット「シナラ」の非公開ミュージアム特別観覧のほか、ライトアーティストの伊藤隆治氏による「Moons」、アクアマリンふくしまの「大漁旗アート」も展示。リビエラ逗子マリナー、リビエラシーボニアマリナー、江の島ヨットハーバーを活用することで海をつなぎ、海から上陸してアートを楽しむ新たなツーリズムを具現化しました。



大漁旗アート



Moons

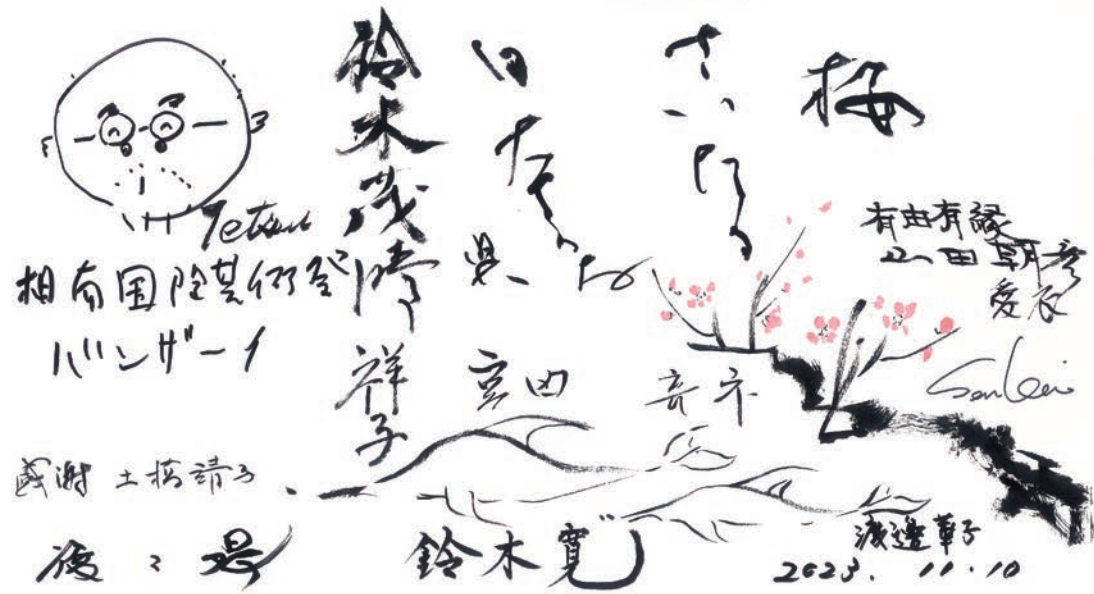


「シナラ」の非公開ミュージアム

「湘南国際芸術祭」は今後も、富士山を望む湘南が持つ魅力を海からの視点で改めて掘り起こし、地域課題解決とともに新たな人流を生みだして、文化芸術の観点からもブルーエコノミーを目指していきます。

Art Shonan

湘南国際芸術祭



湘南国際芸術祭に向けてメッセージをいただきました

芸術は人々の心を豊かにします。湘南国際芸術祭が、アート発信を通じて相模湾を囲む三浦から湯河原に至る「富士山を望む海のあるまち」の魅力をさらに引き出し、新たな人流を生み出しながら、環境問題や広域な地域経済活性化などを目指していることに深く共感し、大いに期待しています。

衆議院議員／第99代内閣総理大臣
菅 義偉 氏

湘南は私が長く留学していた地中海の風物に勝るとも劣らない、むしろそれ以上の素晴らしい景観を持っております。私がよく描く富士山は、ヨットをかけて海の上から見るとより一層美しく、世界の皆さまにもっと知っていただきたいと思っております。

洋画家／日本藝術院会員／文化功労者
／文化勲章受賞者
絹谷 幸二 氏

地球の7割は海です。そして陸と海との調和としてこの地「湘南」は富士山との絶妙なバランスであります。その中での芸術祭は、私のテーマであるイルカとピッタリで、湘南国際芸術祭への出品をはじめ、お誘いいただき関わられたのはとても嬉しい出来事でした。

工芸家／日本藝術院会員／文化功労者
宮田 亮平 氏

太平洋に面した湘南の海、壮大なスケールは私の住む瀬戸内では決して味わうことができません。その地で開催される湘南国際芸術祭は未来に向かっての一層大きな展望を感じさせてくれます。より充実したものとなることを心から願っています。

書家／日本藝術院会員／文化功労者
黒田 賢一 氏

湘南は私の憧れ。リビエラ逗子マリナーは都心に近くビジネス街からリゾートへ、大型客船が停まり世界の人々が遊びに来てくださる場所として広がることを思うとワクワクします。日本文化を、そして伝統に今という中で作品を描きたい。更なる発展を願い応援しています。

日本画家／日本藝術院会員
福田 千恵 氏

片瀬山にかつてアトリエがありました。屋は毎日のように湘南海岸に出て、パスタやカレーを食べ、またアトリエにもどり制作を続けました。そんな思い出の地で芸術祭が開かれるのは、本当にうれしいことです。素晴らしい芸術祭に育ってもらえればと思います。

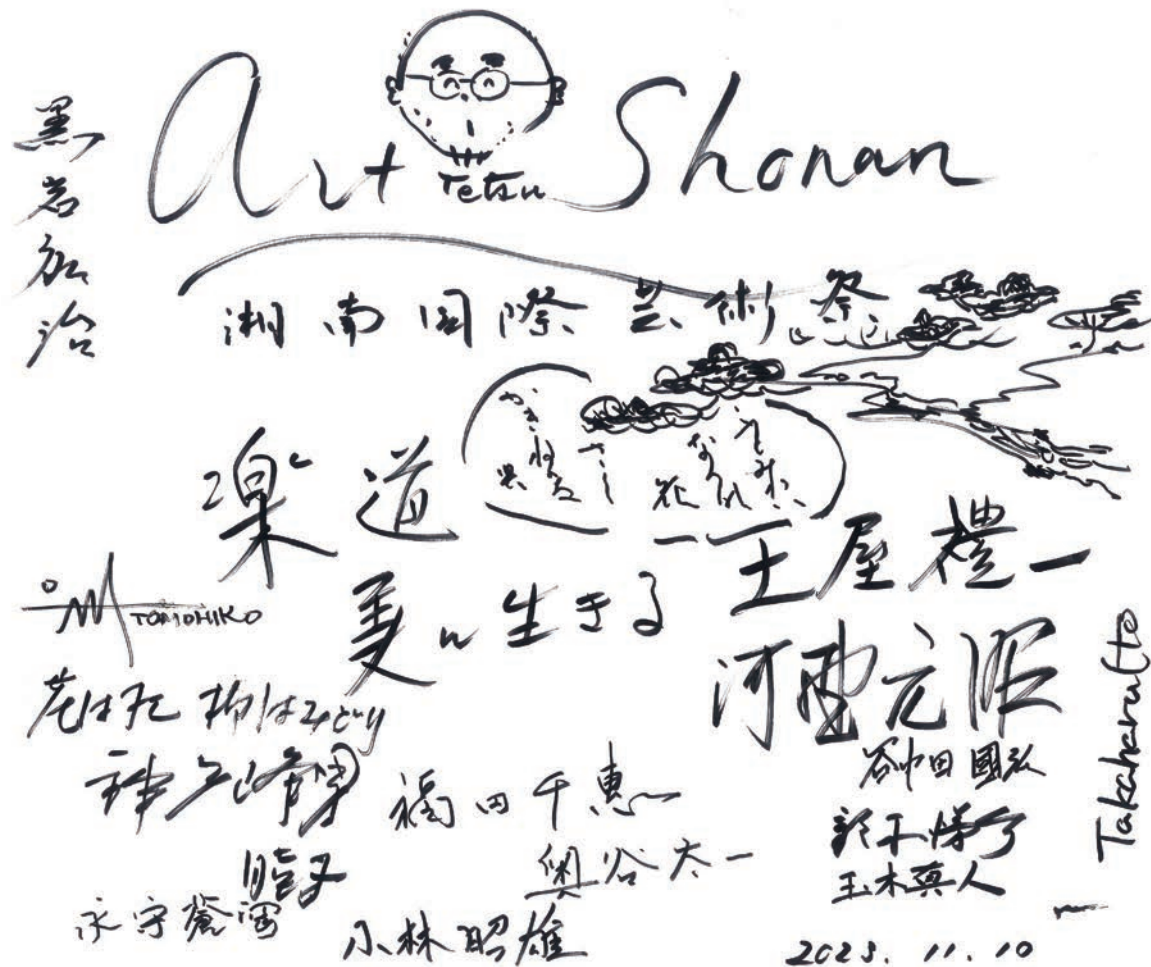
日本画家／日本藝術院会員
千住 博 氏

「エグゼクティブは美術館に集う」の記事を読んだ。進むべき責任を背負った人にとって、新たな価値観に出会う得難い場所なのだ、統計的にも美術館好きが結果を出しているようだ。この湘南国際芸術祭は我々にとってもううれしい限りです。

日本画家／日本藝術院会員
土屋 禮一 氏

自然美が有する普遍性を表現することは作者の永遠のテーマです。日本を象徴する富士、そしてその富士を望む湘南の海は、古より我々が夢見る創作の地です。歴史が育んだ“海からの芸術文化の視点”を大切に、本湘南国際芸術祭が発展することを期待します。

彫刻家／日本藝術院会員
神戸 峰男 氏



富士山のある湘南のスケールの大きい行事に参加させていただき大変感銘いたしました。私は富士山をテーマにして描くことが多く、私でお役に立てることがありましたらぜひ協力させてください。地方創生に湘南国際芸術祭がますます盛んになることを願ってやみません。

洋画家／日本藝術院会員
佐藤 哲 氏

多くの社寺が立ち並び四季ごとに変化が美しい千年の古都。それに匹敵するのは湘南の海と光と富士だ!! 紫式部が湘南に在していれば源氏物語は異なっていただろう。私はありえないわくわくする時空の中にいる自分を感じている。式部の邸の跡に佇みながら、京都人である私。

彫刻家／日本藝術院会員
宮瀬 富之 氏

湘南国際芸術祭が豊かな自然と人々の愛に包まれ、多くの人々の心を潤すアートをどのように展開するのが楽しみにしております。立ち向かう大きな波をかわし、時の波に乗って湘南の地から新しい世界に誇れるスケールの大きな「美」の世界の誕生を願うばかりです。

彫刻家／日本藝術院会員
山田 朝彦 氏

中学、高校、大学と、湘南と一緒に遊んできました。この場所は世界にも稀な、開放感と明るさを持つ場所です。この魅力を、アートの力を使って世界に発信できたらと夢見ています。それは、僕自身を開放していく行為でもあると感じています。

建築家
隈 研吾 氏

海に囲まれた日本の中でも、富士山を望む湘南の美しさに芸術が加わることは素晴らしいことです。湘南国際芸術祭は幅広い芸術文化の発信で世界とつながり、広域な地域活性化を目指していると伺いました。ぜひ音楽の分野で一緒にしたいと思っています。

ピアニスト
仲道 郁代 氏

「湘南国際芸術祭」という言葉。聴いた瞬間に惚れ込みました。そしてリビエラさん主導の第一回目。度肝を抜かれました。錚々たる芸術家がいきなり大集結。県だって負けてはおれません。沿岸市町でそれぞれ芸術の核を作り、海洋ツーリズムの目玉にしたいです。

神奈川県知事
黒岩 祐治 氏

(順不同)

わずか8席だけのプライベート空間でシェフを貸し切る贅沢

「目の前の限られたお客様のためだけに丁寧に向き合う、そういうおもてなしをしてみたいんです」との思いから生まれた「マリーナシェフズルーム」。厳選された地産地消の食材や日本・世界から届く食材、熟練された調理技術など、シェフの説明ひとつひとつに研ぎ澄まされたこだわりが光る。目で舌で香りで味わった時の感動の声や対峙するお客様との会話が、シェフの励みとなり新たな挑戦が生まれる。

この場所ならではのおもてなしをぜひご体験ください。

料理内容・ご希望日をご相談ください

マリーナシェフズルーム
TEL.0467-23-2111
(自動応答[3]レストラン→[5]シェフズルーム)
〒249-0008
神奈川県逗子市小坪5-23-16
リビエラ逗子マリーナ内

奇数月にはイベントも開催



HPご予約



<開催レポート>

Taste of Riviera

心豊かなライフスタイルを願うリビエラでは、欠かすことのできない“食”を通じたイベントを1980年よりさまざまなスタイルでお届けしています。そして新たにスタートしたのが「Taste of Riviera」。四季折々の海・大地からの恵み、圧倒的な自然美、そこに集う人々など、「その時、その場所でしか味わえない唯一無二」を六感で堪能していただいています。



3/9-10

「Helene's TABLE」

@マリブファーム 逗子マリーナ

L.A. セレブに絶大な人気を誇り全米に6店舗を展開するマリブファームのオーナーシェフ、ヘレン・ヘンダーソン氏とリビエラは同じスピリッツで意気投合。日本初上陸店としてマリブファーム 逗子マリーナを2020年に開業して約4年、コロナ禍を経てやっとヘレン氏の初来日イベント開催が実現されました。国際女性デーの週末、女性起業家としても注目されるヘレン氏がもてなすお食事を、幻想的なサンセットを眺めながら、ミモザで彩られた空間で贅沢にご堪能いただきました。



3/27

「春の上海料理を愉しむタベ」

@リビエラ東京

リビエラは、創業267年の松鶴楼との共同経営により、中国・上海随一の観光地外灘(バンド)に2013年「リビエラ松鶴楼」を開業し、中国版ミシュラン「黒真珠」など数々の受賞歴を誇ります。その名店で料理長を務める陳氏の来日記念イベントが3月末に行われました。現地のシグネチャーメニュー「桂魚の揚げ物 甘酢ソース」のほか、上海で最多の紹興酒取扱レストランだからこそ提供できる、中国外不出秘蔵銘酒の紹興酒とのマリアージュや、上海の音楽文化もお楽しみいただきました。

第5回リビエラ

レポート (調べ学習)

4コマ漫画

川柳



作品マンガ大賞

エコバッグ 中身はみんな プラばかり 神奈川県 9歳

「エコひいき」それがわたしの 選び方 栃木県 44歳

食いしんぼう 特技は残さず 食べること 神奈川県 8歳

出産と 授乳以外は 誰でもできる 大阪府 27歳

賞の種類: 文部科学大臣賞、環境大臣賞、神奈川県知事賞、リビエラ賞他 多数!



開催レポート

第4回リビエラSDGs作品マンガ大賞

3/2-3/17 展覧会(作品募集:2023/9-11)

3/10 授賞式(Rネクストサミット・表彰)

@リビエラ逗子マリーナ

4回目となる「リビエラSDGs作品マンガ大賞」の展覧会と授賞式を今年もリビエラ逗子マリーナで開催し、私たちの未来のための発信を行いました。2020年の設立以来、40都道府県から4〜87歳の4000人が参加しています。今回は紙ごみ問題とDXを踏まえ、印刷・輸送・廃棄でのCO2削減を目指してチラシを極力配布せずに募集したにもかかわらず、約1000点もの作品が集まりました。授賞式には星野衆議院議員や黒岩神奈川県知事、逗子市長、葉山町長、鎌倉市長、藤沢市長はじめ、各教育長や企業・団体代表ら総勢17名にご登壇いただき、環境大臣賞を含む49賞が直接授与されました。また、Z世代の声を聴く「Rネクストサミット」も開催。約300名の聴衆が見守る中、プレゼンやサステナ未来会議を行い、小学生から大学生のZ世代7人と神奈川県知事・逗子市長・葉山町長・横浜銀行頭取が対話しました。そのほか、ワークショップや見学会も実施。多様なコンテンツでサステナブルムーブメントを広げていきます。

締切 2024年 10/31 (木) 作品募集 必着 授賞式 2025年3月9日(日)

応募方法

全員

手順1 WEB応募フォームに登録 10/31(木)23:59まで

手順2

- レポート…… 作品を折らずに郵送
4コマ漫画… 専用マンガ応募用紙を折らずに郵送
川柳……… WEB応募フォーム内に入力

- 専用の「SDGsマンガ応募用紙」は下記QRコードのホームページからダウンロードし印刷してください
年齢制限なし(レポートは高校生まで)
未発表の作品に限る
共作は不可
複数部門に参加可能。ただし、ひとり各部門1作品限り同部門に複数作品登録された場合は、最初の作品のみを採用します。

応募方法 注意事項 応募用紙の書き方 ホームページの記載を必ずご確認ください。※規定外の応募は不可

主催: 特定非営利活動法人リビエラ未来創りプロジェクト(リビエラSDGsアクション実行委員会)

共催: 株式会社リビエラリゾート/株式会社リビエラ東京/一般社団法人ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所/一般社団法人日本海洋アカデミー

後援: 文部科学省 環境省

神奈川県/横浜市/豊島区/千代田区/三浦市/横須賀市/葉山町/逗子市/鎌倉市/藤沢市/茅ヶ崎市/平塚市/大磯町/二宮町/小田原市/真鶴町/湯河原町/神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/豊島区教育委員会/千代田区教育委員会/三浦市教育委員会/横須賀市教育委員会/葉山町教育委員会/逗子市教育委員会/鎌倉市教育委員会/藤沢市教育委員会/茅ヶ崎市教育委員会/平塚市教育委員会/大磯町教育委員会/二宮町教育委員会/小田原市教育委員会/真鶴町教育委員会/湯河原町教育委員会/東京私立初等学校協会/一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会/神奈川県私立小学校協会/横浜市立中学校長会/横浜市立小学校長会(一部調整中)

お問合せ

リビエラSDGsアクション実行委員会 info-sdgs@riviera.co.jp

リビエラ 大賞

リビエラ未来づくりプロジェクト https://www.riviera.co.jp/sustainability/

リビエラグループは「リビエラ未来づくりプロジェクト」を2006年に立ち上げサステナブルな取り組みに力を注いでいます

応募はこちらから

最新・詳細情報はHPにて 応募用紙をダウンロード!



団体応募 ※一般締切日と異なります。

団体での応募を受け付けます。学校などの各団体で20名以上の応募はこちらをご利用ください。

団体応募締切 10/18(金)

手順1

公式ホームページから団体応募用のエクセルファイルをダウンロードし、応募者全員分の情報を入力。 ※川柳作品はエクセルに直接入力してください。

手順2

団体応募フォームに必要事項を入力し、手順1のエクセルをアップロード。(締切:10/18 23:59)

手順3

作品(レポート・マンガ)は10/18必着で郵送。

団体応募登録フォーム



【団体応募に関する注意事項】

応募者の個人情報は、応募者と直接連絡が取れる。保護者または本人の情報を手順1のエクセルにそれぞれ入力してください。 ※学校の住所や電話番号、先生のメールアドレスなどで応募された場合は、選考対象外となります。 ※一般応募より締切日が早いです。ご注意ください。 ※上記以外の注意事項は一般と同様です。詳細はHPをご確認ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲Rネクストサミット「若者サステナ会議」 登壇者: 黒岩祐治氏(神奈川県知事)、桐ヶ谷覚氏(逗子市長)、山梨崇仁氏(葉山町長)、片岡達也氏(株式会社横浜銀行 代表取締役頭取)

▶授賞式

ご挨拶: 星野剛士氏(衆議院議員)
プレゼンター: 黒岩祐治氏(神奈川県知事)、桐ヶ谷覚氏(逗子市長)、山梨崇仁氏(葉山町長)、松尾崇氏(鎌倉市長)、鈴木恒夫氏(藤沢市長)、金子智雄氏(豊島区教育長)、森英夫氏(二宮町教育長)、星野拓吉氏(三浦副市長)、上条浩氏(横須賀副市長)、岸宏司氏(茅ヶ崎副市長)、鳥海義文氏(小田原副市長)、北原朋幸氏(アサヒビール株式会社 首都圏統括第三支社長)、片岡達也氏(株式会社横浜銀行 代表取締役頭取)、鈴木茂晴氏(一般社団法人日本海洋アカデミー 代表理事)、小川孔一氏(一般社団法人HAPPY WOMAN 代表理事)、小林昭雄(株式会社リビエラリゾート 代表取締役社長)、渡邊華子(NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト 理事長)



リビエラSDGs 作品 マンガ大賞

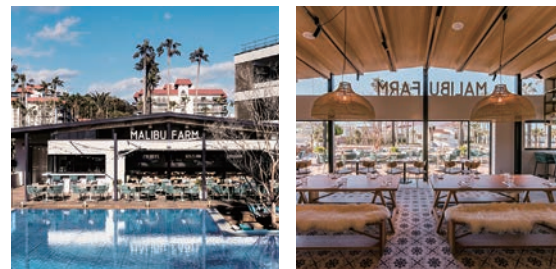


新しい休日のはじめかた

BREAKFAST

by Malibu Farm

リビエラ逗子マリーナで朝食営業がスタートしました



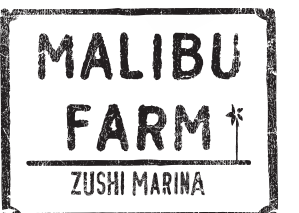
#リビエラ逗子マリーナで朝食
#マリブファームで朝食 #マリブホテルの朝食
#朝活リゾート #土日祝限定 #サンライズ・ウェルネス
#アサイーボウル #モーニングプレート #パンとコーヒー
#リビエラ湘南循環野菜 #朝活イベント

朝活イベントも開催中！
9/22sun,10/23wed and more...

Follow Us /
malibufarm_zushimarina



マリブファーム 検索



風をつかむということ

海況が変わらなければ、帰りは向かい風になるだろう——。

この日、「リビエラ逗子マリーナ」から出港したスワン58「クオリア・リビエラ」は快調でした。真冬の乾いた追い風を帆にかけて、海面を滑るように進みました。このスワンヨットは、イタリアを代表するラグジュアリーブランド「フェラガモ」の現会長で、スワン社オーナーでもあるヨットマンのレオナルド・フェラガモ氏の勧めで購入したものです。

私がセーリングを始めたのは70歳の時。今も月に数回は、社員から選ばれたクルーのトレーニングと人づくりを兼ねて、彼らと相模湾に出ます。この日は冬型の気圧配置で、天気は下り坂。富士山も雨雲にすっぽりと隠れてしまいました。

クローズホールドを帆走してタックした時、予想は的中しました。

逗子湾から吹く強風のブローをつかんだ途端、大きくヒールし始めたため、舵を取られまいと踏ん張りました。しかし、あれだけの強風の中でも、さすがスワンは安定感のある帆走でした。

間が悪いことに雨は雪混じりの霧に変わり、ダウンジャケットを着込んでいるとはいえ、体の芯まで冷える寒さでした。このタイミングで舵をクルーに預け、船室に避難すればよかったです。その日はどうしてもこの風と向き合ってみたくなり、しばらくの間、大自然との格闘が始まりました。マリーナに戻る頃には全身がずぶ濡れ。手と足の指先の感覚がなくなり、下船後、不覚にも風邪をひき、2日間寝込んでしまいました。でも、今思い出しても最高にエキサイティングな時間でした。

私は、若い頃から「風を掴みにゆく」性分があります。瞬間的に「これだ」と思ったものを、何となく掴んでみたくなるのです。裏を返せば「痛い目を見る」リスクもあるのですが、その失敗もまた成長の糧としてきました。

世間では「成功から学ぶ」とも言われますが、私は全く逆です。成功から学んだことは一つもありません。右も左も分からない不動産の世界に飛び込んだとき、何度も痛みに遭遇しました。しかし、その度に学びを得て再起し、国内だけでなく世界でもビジネスをさせてもらえるようになりました。

「騙されたとしても、絶対に人を騙さない」それが私の信条です。そうして本音で人と向き合っているうちに、私を騙す人はいなくなりました。その時々で、どんな風を掴むかは「運」次第ですが、今の私があるのは人の良縁に恵まれたおかげと心から感謝しています。

組織を率いるリーダーは、本当に危険な時にはストップをかける決断力を求められます。そのためにも、その時々々の状況を読み、成功と失敗の「際」を見極める力が必要です。もちろん、晴れた穏やかな日に海に出れば済む話なのですが、人生は必ずしも「安心・安全」だから面白いとは限りません。この日のセーリングは自分の現状を把握する上で貴重な経験となりました。



ブロー：一時的に吹く強い風、風のかたまり ヒール：船体が傾くこと

近々、私はクルーを連れて、イタリア・サルディニア島で開催されるヨットの世界大会「ロレックス・スワンカップ」に参加したいと思っています。夢はいつになっても尽きることはありません。

それにしても、あの日は忘れられない一日になりました。後日、教えるを請うている書家の永守蒼穹氏に勧められて、筆にたつぷりと墨をつけ、一気呵成に「風」と書きました。2024年1月5日。あの日のセーリングを思いながら、エイヤツと筆をとったものです。師からは「荒々しく躍動的な文字ですね」と褒めていただきました。今、生まれ故郷の河口湖の別邸に飾ってあります。自ら掴み取った「風」には格別の感慨があるものです。

リビエラグループ 代表取締役会長
渡邊昇



MALIBU HOTEL

HOME AWAY FROM HOME